



第 65 回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会



2025 年 7 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

会場：長野県松本市 スカイロードサイクリングスタジアム松本（松本市美鈴湖自転車競技場）（周長 333.33m）

主催：日本学生自転車競技連盟

共催：公益財団法人日本自転車競技連盟

運営協力：長野県自転車競技連盟

協賛：公益財団法人 J K A

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

株式会社 J P F

WINSPLACE JAPAN株式会社

Communique No.4

2025 年 7 月 4 日

大会チーフコミッサー 古田 雅拓

競技系

基本的事項

- 大会要項およびそれに記載の大会特別規則、コミュニケ、アナウンスをよく確認すること。
- チームへのアナウンスに WhatsApp を使用する。

一般的事項

- レース主催者またはコミッサーの指示に従わない場合は、UCI ペナルティリストに従い罰金が科せられる。金額は 50CHF を 4000 円とする。
- コース上およびセーフティーゾーンを走行する際、選手は常に承認された硬質で安全なヘルメットの着用が義務付けられている。
- 選手はトラック走行中にヘッドホンを着用してはならない。
- セーフティーゾーンを含め、コース上ではロードバイクの走行は禁止されている。
- セーフティーゾーンに自転車等を放置することはできない。
- 選手はトラック路面に座ることはできない。

レース出場選手の大会運営への協力義務

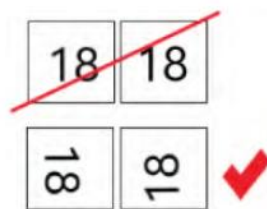
- 競技者は、自らのスタートやケイリン抽選に遅れないよう、次走者控えエリアに参集すること。
- 基本的に次の競技者を呼び出すためのアナウンスは行わない。レースの進行には充分注意すること。
- 相手選手と同時にスタート位置に着かない場合、その選手のスタートを認めない（失格となる）ことがある。
- 出走の15分前までに必ずバイクチェックを済ませること。15分を過ぎても未了の場合はレースから除外する（失格となる）ことがある。

出走の確認と変更

- 大会当日の朝の受付で行われる出走確認は最終的なものである
- ただし、レースドクターが作成した診断書がレース開始前に受付に提出された場合はこの限りではない。

競技

- ライダーは、ゼッケンが常に見やすく、読みやすいようにしなければならない。ゼッケンはしっかりと固定されなければならず、折り曲げたり、加工したりしてはならない。
- ライダーはバンチレースにおいてゼッケンを2枚つけなければならない。ゼッケンは背中中の低い位置で左右に付け、インフィールドや観客から見えるようにすること。すべての競技（200mタイムトライアルを含む）において、ゼッケンはウェアの外側につけること。
- トランスポンダーは使用しない。
- バイクチェックは、コースイン前のバイクチェックエリアで行う。選手はスタート前の十分な時間にバイクチェックを受けなければならない。また、チェックはレースのたびに行われる。**チームは、いかなる競技においても、使用する可能性のある交換用機材の適格性を確認する責任がある。**コミッサーは、レース後に順位を再確認する権利がある。規定に反して自転車やポジションが変更された場合、その選手は失格となることがある。
- データ、情報、画像を収集または送信する機能を持ち、かつそれを目的とする技術装備の搭載は許可されている。使用条件は第1.3.024項および第2.3.024項に規定されている。以下を含む： 自転車の認証に影響を与えないこと（改造）／レース中に取り外せないこと／ライダーから見えない情報であること。
- バンチレースでは、選手はホームストレートからコースに入るものとする。すべての競技において、すべての選手（優勝者を含む）は2.5周以内に1.2センターからコースを出なければならない。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。 <https://www.jicf.info/>（公式のレース結果はホームページへ）
<https://www.jka-cycle.jp/>





第 65 回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会



2025 年 7 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

会場：長野県松本市 スカイロードサイクリングスタジアム松本（松本市美鈴湖自転車競技場）（周長 333.33m）

主催：日本学生自転車競技連盟

共催：公益財団法人日本自転車競技連盟

運営協力：長野県自転車競技連盟

協賛：公益財団法人 J K A

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

株式会社 J P F

WINSPLACE JAPAN株式会社

競技中のチームスタッフ

- 第3.1.012条に従い、すべてのトラック競技中、**すべてのチームスタッフはインフィールド（セーフティゾーンおよびコース外にいること）に留まるものとする。**特定のチームスタッフは、コミッセルの判断によりセーフティゾーン（クラッシュ後のメカニックなど）への立ち入りを許可される場合がある。上記にかかわらず、第3.6.072条が適用される。
- コースへのアクセスランプは常にクリアに保たれていなければならない。競走中すべてのコースアクセス用スロープには、いかなるチームの資材や関係者は立ち入ってはならない。
- スターターズ・プラットフォームへの立ち入りはオフィシャルのみとする。それ以外の者はこのポディウムを使用してはならない。

表彰式

- 表彰式に参加する選手は、表彰式の10分前に表彰式場に姿を見せなければならない。また、公式セレモニーの間は、脱帽で、ヘッドバンドやサングラスを着用せず、競技中の衣服と適切な靴を履いていなければならない。

機材

- 「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。

ハイトカテゴリー

- カテゴリー2 以上の選手については UCI リスト申請することを基本とする。
- UCI リスト登録のない 180 cm以上の選手は“デフォルトカテゴリー”ではなく“カテゴリー 1”として扱う。

警告と失格

- 失格は以下の時に生じる。同一種目における 2 回目の警告（同一競技大会における 3 回目の警告）、非スポーツ的行動による失格、三回目の降格。

ニュートラリゼーション

- 特別な規定がない限り、マディソンを含むバンチレースにおいて、選手またはチーム（マディソンの場合は両名）に認められる事故が発生した場合、その選手またはチームは、その事故が発生した時点から事故前の位置に復帰するまでの 1250m に最も近い周回数（333m トラックなので 4 周）の間、ニュートラリゼーションを受ける権利を有する。

スタンディングスタート競技

- 各ヒートで 2 名の選手が走行する。

[再放送]

- スタンディングスタート競技の各ラウンドにおいて、1 チームまたは 1 選手に許されるスタート回数は 2 回までである。再スタートは、不正スタート、または認められた事故の場合にのみ与えられる。

※整備不良は再放送の対象とならない（例：ホイールずれ）

スプリントと 200mタイムトライアル

- 選手は 200m のタイムトライアル中、2 枚のゼッケンを着用しなければならない。
- 200m のスタートでライダーをプッシュする際、コーチは**セーフティゾーン**に留まり、プッシュしながら**パーシュートライン**を超えてはならない。この指示に従わない場合、コミッセルの指示に従わなかったとして罰金が科せられる。

ケイリン

- スタートにおいて競技者はペーサの直後で**抽選によって決定された位置を取ることとし、スタート後少なくとも最初の周はペーサの後ろにつかなければならず**、これを行なわなかった場合直ちにレースを停止し、これに従わなかった競技者は失格とする。
- デルニー後方での動きに関して、その詳細についてチーム代表者会議で説明した事項をよく理解すること。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jicf.info/>（公式のレース結果はホームページへ）

<https://www.jka-cycle.jp/>





第 65 回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会



2025 年 7 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

会場：長野県松本市 スカイロードサイクリングスタジアム松本（松本市美鈴湖自転車競技場）（周長 333.33m）

主催：日本学生自転車競技連盟

共催：公益財団法人日本自転車競技連盟

運営協力：長野県自転車競技連盟

協賛：公益財団法人 J K A

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

株式会社 J P F

WINSPLACE JAPAN 株式会社

タンデム・スプリント

- ホルダーは 2 名まで認める。

[予選]

- 予選は、フライング・スタートによる 1 周を計時する。

- 助走と計時周回を含む走行距離は **3 周回** とする。

- スタートでライダーをプッシュする際、コース全幅にわたってのプッシュを認める。

[決勝]

- スタートは、ホーム・ストレッチの パーシュートライン からである。

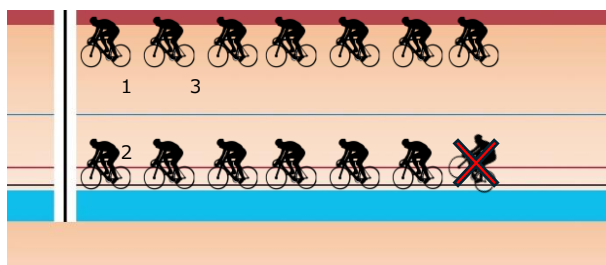
- 競技は **3 周回** の距離で行う。

バンチレース

- スタート時、ホルダーはライダーをプッシュすることができるが、スタート時のクラッシュを避けるため、プッシュ中にその位置から **走る** ことは許されない。

- スタート時、ブルーバンド側の選手は走路に平行に立ち、ホルダーは真横に立つ。

スタート時の整列



- コミッセールは、レース全体をニュートラルもしくは中断することがある。その場合はそれぞれ以下の方法などで示す。

ニュートラル	中断

- レースのニュートラルからの再開時は黄旗を降ろし、ピストルにて合図をする。

- レースが行われている間、チーム代表者はコミッセールの決定に対して異議申し立てはできない。

マディソン

- スタート時、第 2 グループの選手は、反対側の外側のフェンスに並ぶこと

- 気温が高くなる場合には、レース距離の短縮や補給について検討する場合がある。

以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jicf.info/>（公式のレース結果はホームページへ）

<https://www.jka-cycle.jp/>

